

蒲刈中学校区小中一貫教育だより



令和5年 3月発行

早春の候 保護者、地域の皆様にはおかれましては、蒲刈中学校区（以下、本中学校区と表す）の取組にご理解とご協力を賜わり、誠にありがとうございます。

さて、本中学校区では、小中学校の教職員が「伸ばす学力部会」と「育む心部会」のいずれかに所属して、義務教育9年間で教育目標「未来を拓く児童生徒の育成」の実現に向けて取り組んでいます。特に今年度は、主に「授業改善による学力向上」、「自己表現力の向上」、「ふるさと学習の充実」、そして「自己肯定感の向上」等に取り組んでいます。

今回の便りでは、11月以降に実施した小中合同行事の様子を紹介するとともに、令和4年度を振り返ります。

合同避難訓練② 11月4日（金）



高台に避難する



避難の仕方を褒めてもらいました

今年度2回目の小中合同避難訓練は、地震・津波を想定して実施しました。まず、地震発生により頭を防ぐ行動を行い、運動場に避難しました。

その後、津波の恐れがあるため、高台である「であいの館」に2次避難を行いました。東消防署蒲刈出張所からも職員がその様子を見守り、避難の仕方を褒めていただきました。

「自分の命は自分で守る」大切さを深めることができました。関係機関との連携を日常的に行うことで、児童生徒の防災意識を高めることができ、「いざ」という時に機能するように訓練していきます。

蘭島ミニコンサート 11月18日（金）



蒲刈中体育館で演奏する高木さん坂野さん



児童生徒とお話

例年、蘭島文化振興財団様のご厚意で続いているミニコンサートが、11月18日（金）に行われました。今年度は、フルートの高木綾子さんとピアノの坂野伊都子さんが蒲刈中体育館に来られました。全国で演奏活動をされているお二人は、後進の指導も行っています。

こうしたプロの演奏を聞くことができるのも、本中学校区ならではのよさです。校区内にある美術館・博物館などは、校区にとって「宝物」であるとともに、児童生徒にとっても「宝物」です。また、貴重な体験は、児童生徒にとって、豊かな感性を磨くことにもつながります。本中学校区の児童生徒のために、協働的に連携を深めていきたいです。

合同避難訓練③ 1月17日（火）



消防署の方からのお話を真剣に聴く



落ち着いて「煙体験」

今年度3回目の小中合同避難訓練は、火事を想定して実施しました。実際に119番通報（訓練）をするということで、通報担当の教職員も緊張感が高まりました。

運動場に避難した後は、東消防署蒲刈出張所との協力で、小学校児童は中学校に移動して、中学生と一緒に「煙体験」を行いました。

中学生とともに避難訓練をすることにより、児童は見本となる中学生の「姿」を見て、習うことができます。見習うことから、「真似（まね）る」ようになり、やがて「まねる」は「まな（学）ぶ」ことができるようになります。ともに活動することにより、互いの良さを学び合う児童生徒であることを期待しています。

令和4年度 1年間を振り返って

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、様々な行事や教育活動等において影響を受けることになりました。新聞・テレビ等の報道では、「3年ぶりに〇〇開催」と聞くことも増えてきました。本中学校区においても、「3年ぶりに保護者を招いての運動会開催」、小学校においては「3年ぶりの水泳指導」となりました。これらの取組に関連して、まず児童生徒の体力・運動能力について考えてみます。

先日、スポーツ庁から学校に届いた「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」によると、「運動やスポーツをすることが好きな児童は昨年度より増加したものの、以前の水準には戻っていない」・「体力合計点は令和元年度調査から連続して低下している」と指摘しています。これは、全国的な課題であるといえます。

次に、本中学校区について考えます。令和4年度体力・運動能力調査結果から、小中の共通課題種目として「上体起こし」と「長座体前屈」をあげ、取組を進めてきました。「上体起こし」はいわゆる腹筋運動、「長座体前屈」はいわゆる体の柔らかさ(柔軟性)をみる運動です。これらの課題解決に向けた取組を進めてきました。結果の分析や取組については、両校のホームページをご覧ください。

では、学力・学習の状況についてはどうでしょう。全国学力・学習状況調査の結果から、蒲刈小・中共通の課題を国語科では「物語の展開に従って、叙述を根拠に心情変化を捉えること」、算数科・数学科では「目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を適切に読み取ったり、それらを根拠に判断の理由を説明したりすること」と捉えて取り組んできました。

国語科と算数科・数学科は、児童生徒にとっては基礎・基本となる教科です。一人一人の児童生徒について、各教科で、「どんな内容」の「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」が課題なのかを明らかにし、「授業改善による学力向上」や「自己表現力の向上」等に取り組みました。

また、小中合同の運動会や学習発表会では、保護者や地域の皆様には多くの「ほめほめメッセージ」をいただきました。運動会では「低学年はにこにこ元気に、高学年はしっかり力強く、全員が力いっぱいがんばっている様子がとてもステキな運動会でした」、学習発表会では「演技する子ども達が生き生きしているし、楽しんでいるように見えてとても感激しました」、「保護者の皆さん、裏方さん、先生方が一体となった、『生徒の皆さんによる渾身の演技・演奏』を楽しく鑑賞させていただきました」等、皆様の声によって児童生徒は達成感や自己有用感を味わうことができました。さらに新たな次のステップへの自信や勇気につながりました。ありがとうございました。このような心温まる言葉や優しい眼差しは、児童生徒の育ちに欠かせません。



今年度の本中学校区での取組を振り返り、成果と課題を明らかにし、令和5年度に向けた取組を始めます。保護者や地域の皆様には、本中学校区一番の「宝物」である児童生徒のため、今後とも本中学校区における取組にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



蒲刈小ホームページ
<http://www.kure-city.jp/~kams/>



蒲刈中ホームページ
<http://www.kure-city.jp/~kame/>